

審議会等名	令和4年度第1回つくばみらい市水道運営審議会
開催日	令和4年10月5日（水曜日）
開催場所	つくばみらい市役所谷和原庁舎 第1・2会議室
出席者	出席委員 中島道博、青木謙二、秋田恵子、片見礼子、野村俊光、中山和明、根本志枝 欠席委員 齊藤常夫、長塚悦子、古谷道男、松本譲二、朝比奈節子 市出席者 飯泉都市建設部長、小林上下水道課長、大澤課長補佐、坂本課長補佐、中村係長、飯田職員（会計年度職員）
議事	（1）令和3年度水道事業会計決算について（報告）
議事概要	<p>1 開会 午前10時00分</p> <p>2 都市建設部長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議事</p> <p>（1）令和3年度水道事業会計決算について（報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が令和3年度水道事業会計決算について業務状況、経営状況、事業概要等を説明し、次の意見があった。 <p>【意見】</p> <p>議長 学校にあるプールの水について、水道料金は発生しているのか。またその管理は学校側か上下水道課側か。</p> <p>事務局 学校のプールについても水道料金を賦課しており、施設管理者に料金を支払ってもらっている。また、学校のプールは学校が管理しており、プールへの給水については、事前に学校側から計画書を提出してもらい、その計画に沿って給水をお願いしている。</p> <p>また、学校によってはプールの単独メーターを設置しているところもあるので、定期的にメーターを確認していただき、漏水等の確認もお願いしている。</p> <p>委員 資料の2ページを見ると、前年度より有収率が低下している。先ほどの説明の中で、小絹地区で発生した漏水とあったが、どのような漏水か。</p> <p>事務局 水道本管Φ150mmからの漏水であり、深夜一定の水量であったものが、徐々に水量が増加したため、漏水を疑った。配水区ごとの流量計から小絹地区で</p>

	<p>あることが分かり、職員及び委託業者にて調査を行ったが、調査エリアが広がったため、漏水箇所の特定に時間を要した。</p> <p>議長 民間では内部留保を使うことがあるが、企業会計ではどうか。</p> <p>事務局 4条予算において、資本的収支に不足が生じた場合には、補てん財源として、内部留保資金を充てている。</p> <p>議長 災害時や極端に物価が上がった際の緊急時の対応のためにも、出来るだけ内部留保資金を確保しておいて欲しい。</p> <p>委員 災害時の対応はどのようになっているのか。</p> <p>事務局 日本水道協会の「災害時相互応援に関する協定」により、災害等で応援要請すれば対応できる体制になっている。</p> <p>委員 老朽化した水道管の更新工事は、いつ頃までに終るのか。</p> <p>事務局 市内の管路延長は約 460 kmあり、今後 20 年で約半分が耐用年数を迎えることになる。老朽化は継続的なものであり、引き続き管路の更新については、優先順位を決めて、計画に基づき重要給水管を中心に実施していく。</p> <p>委員 現在、JA 小絹ホール付近で施工している工事はどういったものなのか。</p> <p>事務局 JA 小絹ホールがある交差点から、筒戸にある TX 車両基地への水道管を整備しており、現在は、都市計画道路守谷小絹線の道路整備に伴い、水道管を移設している。 また、茨城県企業局の送水管布設も道路整備と併せて行っている。</p> <p>5 その他 ・委員から次の意見があった。 【意見】 委員 久保浄水場の旧施設は、今後どうするのか。 事務局 古い管理棟については、将来的に取り壊す計画を検討している。</p> <p>6 閉会 午前 11 時 00 分</p>
配 付 資 料	<p>・令和 3 年度水道事業会計決算について</p>

そ の 他	傍聴人 なし
-------	--------